

撮影した動画を Youtube を用いてアップロードし、manaba から視聴する方法

オンライン授業実施のために、撮影した動画を受講者に公開する方法の一例について説明します。必ずしも、このマニュアルに記載の方法で実施しなければならないということではありません。

おおまかには以下のような流れになります。

①動画の撮影→②YouTube へのアップ→③manaba への掲載→④アクセス履歴の確認

流れに沿って説明します。

①動画の撮影

スマートフォンなどを使用して動画を撮影し、PC につないでデータを PC 内に保存してください。スマートフォンを PC につなぐと、スマートフォンのデータフォルダが PC に表示されるので、アップしたい動画を選択して PC に保存してください。うまくつながらない場合は、何度か接続し直してください。

注意事項


著作権の都合上、教科書のページを動画で配信することはできません。追加履修を行った学生を除き、受講者には 1 回目の授業までに教科書が届く予定となっております。動画には映さず、ページ数を指定して授業を行ってください。

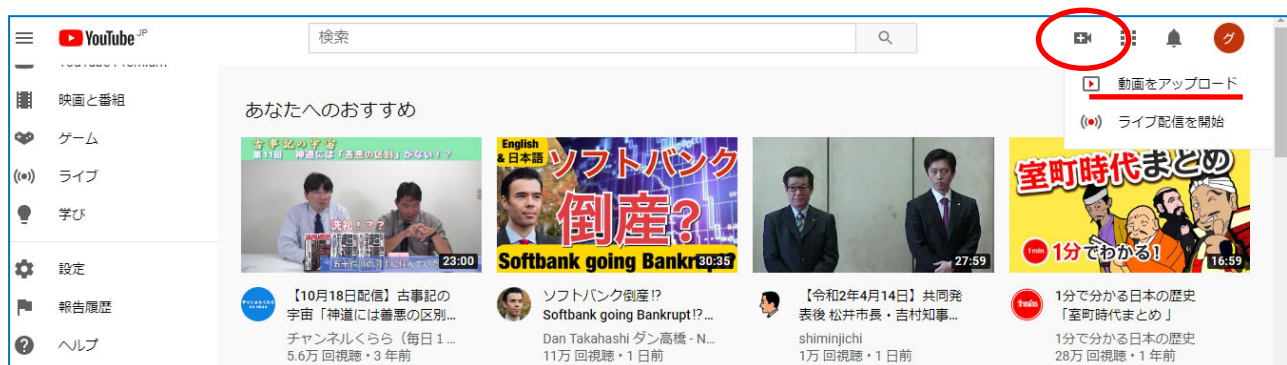
②YouTube へのアップ

PC に保存した動画を、以下の手順で YouTube にアップしてください。動画をアップするには、Gmail のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、ユーザー名とパスワードを設定し、アカウントを作成してください。

※Web 上で「グーグルアカウントの作成」と検索し、この画面からアカウントを作成してください。



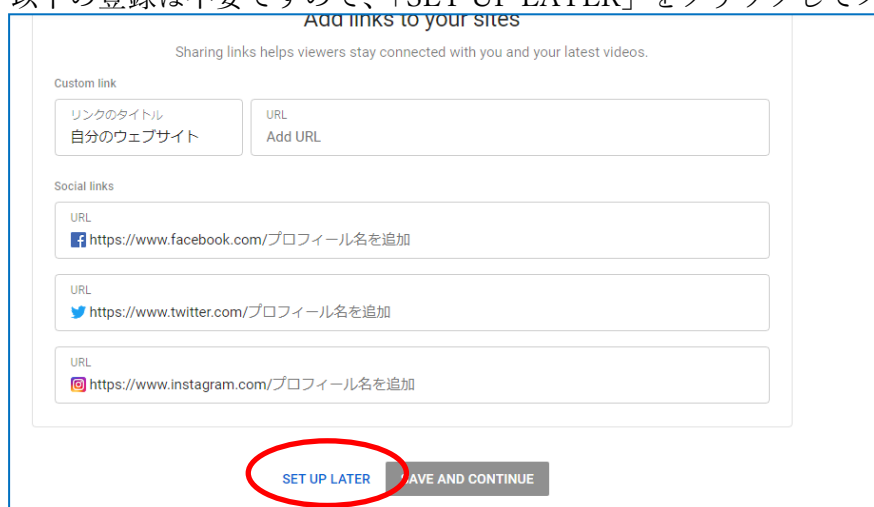
ホーム画面から、右上の  をクリックして、YouTube をクリックしてください。



右上の  をクリックして、「動画をアップロード」を選択してください。

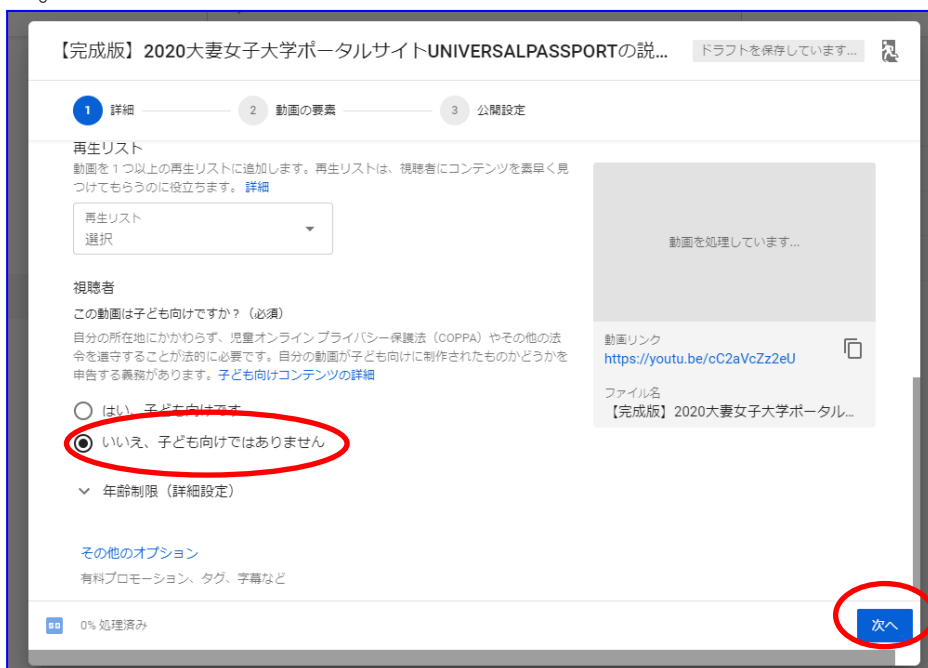
動画を登録するチャンネルが作成されます。チャンネル名は、Gmail に登録した名前を使用するか、ビジネス名・ブランド名として別途チャンネル名を付けることができます。

以下の登録は不要ですので、「SET UP LATER」をクリックしてスキップしてください。





この画面から動画をアップロードできます。動画データを選択してアップロードを開始してください。



アップロードが開始すると、このような画面が表示されます。「いいえ、子ども向けではありません」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。



この画面では、「限定公開」を選択してください。



「動画リンク」の URL にアクセスした人だけが、動画を視聴できます。

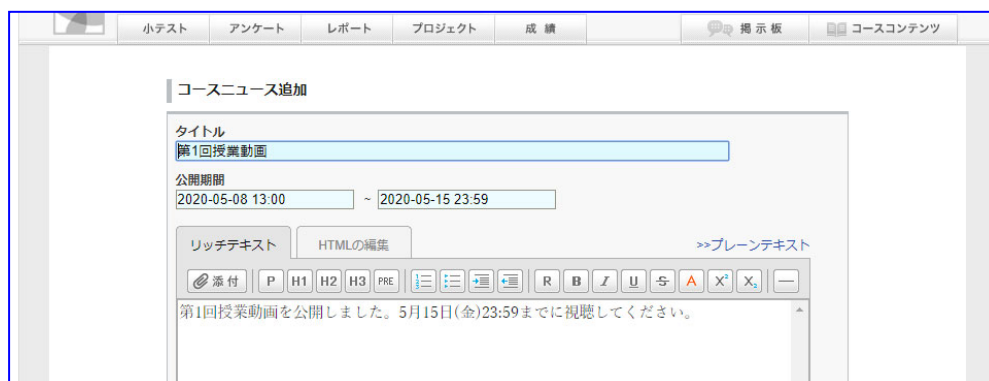


URL を確認したいときは、この画面から詳細ボタンをクリックしてください。

③manaba への掲載

YouTube にアップした動画は、manaba に URL を掲載することで受講者に公開します。動画へのアクセス履歴を確認するため、必ず manaba のコースニュースに URL を掲載してください。出欠を確認する都合上、公開期間を 1 週間程度設定し、コースニュースの本文に公開期日を記載してください。

例：「第 1 回授業動画を公開しました。5 月 15 日(金)23:59 までに視聴してください。」



④アクセス履歴の確認

動画の公開期間が終了したら、出欠をカウントするために、以下の手順でコースニュースの閲覧履歴を確認します。

コースニュース管理


コースニュース一覧

コースニュース追加

コースニュースを削除しました。

タイトル	投稿者	期間	管理
第1回授業動画	市川 幹	未公開 2020-05-08 13:00 ~ 2020-05-15 23:59	リマインダ 未読中 

閲覧確認
削除

コースニュース管理画面から  ボタンをクリックし、「閲覧管理」を選択してください。

第1回授業動画

2020-05-08 13:00:00

投稿者 市川 幹

閲覧状況をダウンロード

氏名	学籍番号	状態	閲覧日時
ダミー学生1	DUMMY1	未読	-
ダミー学生10	DUMMY10	未読	-
ダミー学生11	DUMMY11	未読	-
ダミー学生12	DUMMY12	未読	-
ダミー学生13	DUMMY13	未読	-
ダミー学生14	DUMMY14	未読	-
ダミー学生15	DUMMY15	未読	-
ダミー学生2	DUMMY2	未読	-
ダミー学生3	DUMMY3	未読	-
ダミー学生4	DUMMY4	未読	-
ダミー学生5	DUMMY5	未読	-

ニュース本文

学生の閲覧状況を確認することができます。

なお、実際に動画を全て視聴したか確認することはできません。定期的に小テストやレポートを課すことで、理解度を確認してください。